

2023年7月1日



運輸安全管理 に関する取り組み



一畑バス株式会社



1. 輸送の安全に関する基本的な方針

(1) 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たしてまいります。また、事業所における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現業部門の状況を十分に踏まえつつ、従業員に対して輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。

(2) 会社は、輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施するとともに、安全対策を不断に見直し、全従業員が一丸となって輸送の安全の向上に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

2. 輸送の安全に関する目標及び達成状況

【2022年度目標及び結果】

①人身交通事故（車内事故を含む）

目標0件 ⇒ 目標未達 5件

②有責物損交通事故

目標前年度実績の15%減 ⇒ 目標未達 25 件（前年 20件）

2023年度 運輸安全マネジメント

社内重点目標

◎人身事故（車内事故を含む）

「**人身事故 ゼロ**」

◎有責物損事故

「**21件以下**（15%減：前年対比）」

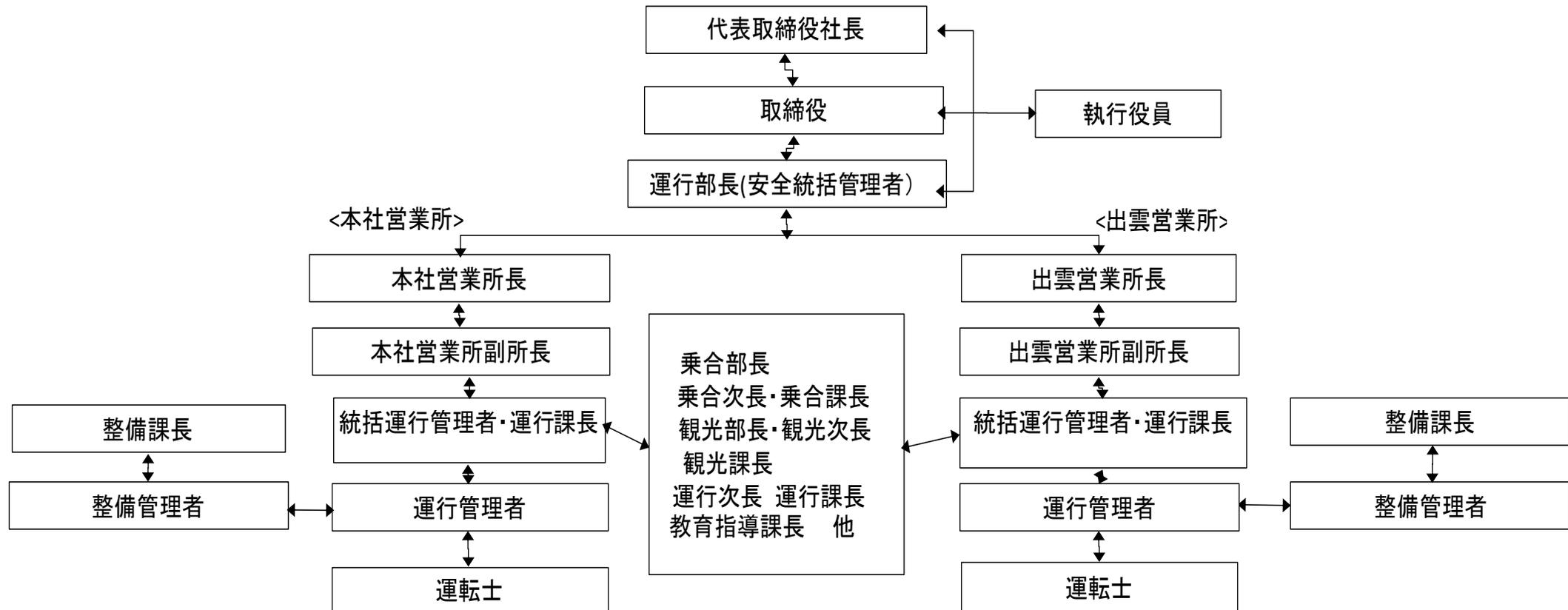
3. 2022年度事故統計 (自動車事故報告規則第2条に規定する事故)

第2条第3号に関する報告 (重大事故)	⇒	0件
同条第9号に関する報告 (運転者の疾病)	⇒	0件
同条第11号に関する報告 (車両故障)	⇒	5件
その他報告すべき事故	⇒	0件

4. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

★安全輸送に関する組織図★

2023年6月16日改訂



5. 輸送の安全に関する重点施策

- ①輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規定に定められた事項を遵守いたします。
- ②輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- ③輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- ④輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達共有いたします。
- ⑤輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを確実に実施いたします。

6. 輸送の安全に関する教育の実施状況

- 社長を長とした幹部職員による幹部会を毎月定期的に開催し、安全情報等の報告や安全対策の提案・協議を行っています
- 安全教育及び安全設備投資並びに年4回の全国交通安全運動等の計画を作成しその推進を図っています
- 教育指導課を中心に、職場会や集合教育(法定机上教育)、実技教習や面接指導等、安全対策を実施しています

職場会・集合教育



6. 輸送の安全に関する教育の実施状況

【安全意識・モチベーションの向上】

継続無事故表彰の実施により安全に対する意識の向上を図るとともに、お客様から賞詞を頂戴した運転士に対し運行部長から賞詞表彰を行っており、表彰者を一畑グループの社内誌で紹介する等、モチベーションの意識向上を図っています。

一畑グループ社内誌《淡交》



6. 輸送の安全に関する教育の実施状況

【輸送の安全に関する情報の共有】

輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報の伝達共有をしています。

運行管理者会議



6. 輸送の安全に関する教育の実施状況

緊急事態対策合同訓練の実施、緊急事態発生時の体制の再確認、強化に取り組んでいます。

警察合同テロ・バスジャック対応訓練



普及員による救命講習 (AED)



松江消防署と合同での集団救命救助訓練



7. 輸送の安全に関する予算等の実績

【2022年度実績】

ドライブレコーダー 2基（本社2基）
デジタルタコメーター0基
車両更新（高速路線）0両
（貸切） 0両
（県内路線）2両（本社2両）
SOSスイッチ新設

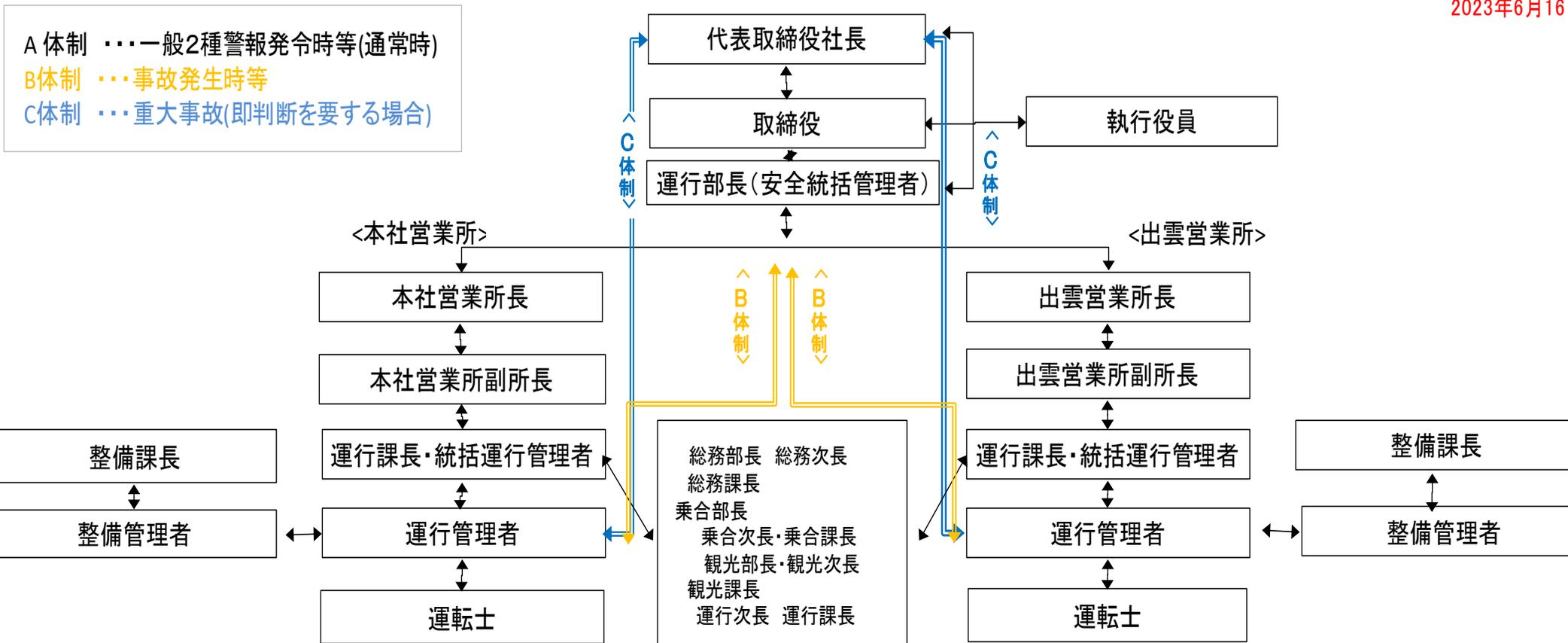
【2023年度予算】

ドライブレコーダー 2基（本社営業所2両）
デジタルタコメーター1基（出雲営業所1両）
車両更新（高速路線）1両（本社営業所1両）
（県内路線）2両（本社営業所2両）

8. 事故、災害等に関する連絡体制

★事故・災害等に関する報告連絡体制★

2023年6月16日改訂



9. 安全統括管理者

安全統括管理者：常務取締役 谷口 学

2023年6月16日より

安全統括管理者：運行部長 湯淺 祐二

10. 安全管理規定

「安全管理規定」別紙参照

11. 輸送の安全及び接遇に関する教育及び研修の計画

- 「安全に関する年間教育・研修計画」に基づき、机上教育や実技訓練等現場に密着した教育・研修を計画的に行います
- ドライバースコンテストを開催し、現場運転士の安全意識の向上、モチベーション向上を図ります
- 1か月に1回の安全衛生委員会を開催し、職場環境の改善、労働災害の防止に努めます
- 救命講習(AED)等、参加型集合教育を実施し、従業員のレベルアップを図ります
- ドライブレコーダー映像を活用した視聴覚教材等による定期的な教育を実施します
- 飲酒運転防止インストラクターの資格を取得した統括管理者による飲酒が運転に与える影響を教育し、酒気帯び出勤撲滅の風土作りに取り組みます
- サービス介助士の資格を取得した教育指導課を中心に高齢のお客様や障がいをお持ちのお客様へ適切な対応が出来るよう社員教育を実施します
- 社員の健康管理強化のため、SAS検査やストレスチェック等の導入、健康な状態で乗務する体制整備や健康起因事故防止に努めます

12. 令和4年度の輸送の安全に関する内部監査結果

(1) 内部監査実施月日

- ①2023年5月31日（経営トップ）
- ②2023年6月13日（安全統括管理者）
- ③2023年6月14日（本社営業所
統括運行管理者）
- ④2023年6月26日（出雲営業所
統括運行管理者）



(2) 監査内容

- ①経営トップとしてのマネジメントレビュー
- ②安全に関する仕組みの構築及び取り組みの立案・実施
- ③前年度指摘事項（事故等の対応訓練の継続実施）
- ④前年度指摘事項（デジタコデータを使った指導、その記録化）

(3) 監査結果

- ①安全に対する強い信念を持ち、安全意識の高さがある。
- ②乗務員とのコミュニケーションを大切にし、事業継続計画に関する整備の必要性も認識されていた。
- ③前年度の指摘事項は実施されていた。
- ④前年度の指摘事項は実施されていた。